

新聞製作の流れ学ぶ

民報号で郡山の海老根小



日、移動編集車「民報号」で同校を訪れた福島民報社の担当者から新聞製作の流れや役割などを学んだ。

郡山市の海老根小の五、六年生八人は二十

福島民報社編集局の市川純一企画委員が講師を務めた。二十日付の福島民報朝刊を教材に短時間で幅広い情報

を入手できる新聞の特徴について理解を深めた。DVDの映像で取材から記事の執筆、レイアウト、印刷、配達の流れを学んだ。

見出しや写真のレイアウトなど表現の工夫についての説明も受けた。民報号では担当者が児童の学習の様子を伝える号外を作り、配布した。

福島民報社は学校や企業、団体などを対象に、新聞に関する各種講座の申し込みを受け付けている。問い合わせは地域交流室 電話024(531)4145へ。



新聞製作に理解を深める海老根小の5、6年生